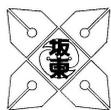


令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 37号

令和7年1月8日(水)発行

校長 関根 崇史

児童のみなさんへ～三学期のスタートにあたって

三学期がスタートしました。みなさんの声が聞こえない学校は、さびしいものです。昨日、笑顔で、元気に登校するみなさんの顔を見て、「やっぱり学校はこうでなくては」とウキウキした気持ちになりました。冬休み中に大きな事故などもなく、全員が元気に三学期がむかえられたことを何よりうれしく思っています。



「元気にあいさつをしよう」「思いやりをもって人と接しよう」「大切な命を守ろう」の3つについては、年度当初からみなさんをお願いしてきたことです。三学期も意識をして行動していってほしいです。

さて、三学期のスタートに当たり、いくつかの数字から、今学期をどう過ごしてほしいかを書いてみたいと思います。

「0」・・・三学期は次の学年の0学期

三学期が終わり、4月になれば、それぞれが次の学年へと進みます。そこで、三学期を次の学年の0学期と考え、4月の新しいスタートを意識して、三学期を過ごしてほしいと思っています。良いスタートは、良い準備があつてのことだということを忘れないでください。

「53(51)」・・・三学期に登校する日数(6年生は51日)

三学期は、とても短く、登校するのはこれしかありません。縁あって同じクラスになった仲間たちと過ごせるのもあとわずかです。一日一日を大切に、このクラスで、この学年で、この学校でよかった、そう思える体験をたくさんしていきましょう。

「449+53」・・・三学期スタート時の児童数・職員数

坂東小学校は、449人という多くの子供たちと、それに関わる53名の職員が生活する、500名以上の大きな大きな家族です。全員が楽しく、充実した毎日を送ってほしいと思っています。つらい思いや悲しい思いをする人がないように、思いやりの気持ちをもって生活していきましょう。また、一人として欠けることがないように、常に安全を心がけていきましょう。

「77」・・・三学期を最後に坂東小を巣立っていく6年生の人数

6年生には、悔いを残すことなく、3月24日、最高の卒業式で新たなステージへ進んでいってほしいと思っています。残された時間をしっかりと胸に刻み込んでいきましょう。1～5年生は、これまで最高学年として学校を支えてくれた6年生の姿を目に焼き付けておいてください。6年生の築いてくれた伝統を引き継ぎ、さらに発展させていくのは自分たちだという自覚をもって、6年生から一つでも多くのことを吸収できるようにしていきましょう。

三学期も学校Webページにて子供たちの「活動の様子」をご確認ください

5月中旬より、「活動の様子」(坂東小学校日記)をアップしてきました。今学期も、子供たちがどのような学校生活を送っているか、教職員がどのような思いで子供たちと向き合っているか等が伝わるように情報発信していきます。 URL: <http://www.isesaki-school.ed.jp/bandousyo/>



三学期からは「令和6年度 三学期」のページに情報をアップしていきます。一学期、二学期の内容も引き続き閲覧することができます。パソコンの場合は「活動の様子」を開き、右上にある「令和6年度 一学期」「令和6年度 二学期」をクリック(選択)することで切り替わります。スマホ等の場合には「活動の様子」を開き、左上にある「≡」をタッチ(選択)し、そこから切り替えができます。離れた場所からでも、坂東小学校の空気を感じていただけたらと思っていますので、すき間時間等を利用して気軽にご覧ください。